



かみかわ町

# 議会だより

No. 68

令和4年  
12月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和4年

9月

定例会

7名の議員が一般質問を行う P.3

9月定例会決算特集 P.10

議会活動報告 P.16

城塞公園  
キャンプ場



16 ページに  
写真の説明があるよ

表紙シリーズ

輝く もみじ

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

## 議会の傍聴について

第4回定例会は12月

6 日(火) [午前9時～ 一般質問等] から

13 日(火) [午前9時～ 質疑・討論・採決等]  
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

# 9月定例会を開催

令和4年第3回神川町議会定例会は、9月6日から16日までの11日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和3年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定8件をはじめ、令和4年度一般会計及び特別会計の補正予算5件、報告4件、条例の改正等5件を審議しました。

また、一般質問は9月6日に行われ、7名の議員が町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。

質問者	質問事項	質問要旨	掲載頁
川浦 雅子	1. マイナンバーカードについて 2. ひきこもりの長期化について(追跡質問) 3. 中学校の部活動について	1 取得は任意である事の周知及び国のデジタル改革と町財源・事業への影響について 1 親の高齢化と支援について 1 地域移行について	3
柴崎 愛子	1. 予防接種について 2. 健康長寿対策について(追跡質問) 3. 水道老朽管等の更新について	1 65歳以上の方の肺炎球菌とインフルエンザの予防接種に対して平等な助成金を行うことについて 1 がん検診に線虫検査を導入することについて 1 石綿管(石綿セメント管)・VP管(塩化ビニルパイプ)更新の進捗状況及び財源等について	4
堀川 光宣	1. 小学校の統合について	1 2校統合及び統合に必要な期間について	5
坂本 貴佳	1. 行政のデジタル化について	1 デジタル化に伴う町の対応について	6
福島 康弘	1. 自主防災組織について	1 自主防災組織の啓発及び必要性について	7
新井 太一	1. SDGs(まちづくり)に取り組むための町の体制づくりについて	1 SDGsにもとづく地方創生の活動ができる組織体制の見直しについて	8
赤羽奈保子	1. 自治体DXの取り組みについて 2. エコツーリズムについて(追跡質問)	1 オンライン化について 1 エコツーリズムの推進について	9

※一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

※9月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも12月上旬から閲覧出来ます。



# 一般質問



## 川浦雅子議員

### マイナンバーカード

#### ◆住民に メリットがあるのか？

マイナンバーカードの取得は任意です。デジタル改革の一つであるマイナンバーカード普及等で、職員の事務負担軽減や職員削減等も言われていますが、住民にとってカード普及にメリットがあるのか、伺います。

#### 答え 町長

#### 「コンビニ交付の準備を進めています」

国では安全、安心で利便性の高いデジタル社会をできるだけ早く実現する観点から、今年度中にすべての住民がマイナンバーカードを保有することを想定し、取得を促進しています。現在は、マイナンバーカードを利用して各種証明書を取得できるコンビニ交付サービス導入の準備を進めています。

マイナンバー制度は、情報を一元管理するようなことはなく、情報漏えいのリスクは少ないと認識しています。また、現状の職員体制は維持しつつ、国等の動向に注視し、適正かつ効率的に業務が行われるよう努めていきます。

#### ひきこもりの長期化

#### ◆親亡き後も 孤立させない支援を！

本人との話し合いが無理な状況もあると思いますが、助けを求められる体制等で、孤立させない支援をしていただきたい。外部からは、ひきこもりをつかみにくい現状ですが、行政とつながることのできる取組を伺います。

#### 答え 町長

#### 「啓発強化

#### 官民横断的な対応を」

地域包括支援センターや保健センターでは、8050問題を抱えた世帯の一時的な相談窓口としての機能を果たすとともに、問題が深刻化する前に町の広報紙やホームページを通じ、早期相談につながる啓発強化を図ります。

町では地域包括ケアシステムの深化を図るとともに、行政の手だけでは解決できない官民横断的な対応が重要と考えています。

#### 中学校の部活動

#### ◆しっかり 議論を

来年度から改革を行う部活動地域移行は、多くの課題を抱えています。自治体間格差や家庭の格差が生じ、また、部活動の成績が進学時の成績加算の対象である等も含め、生徒にとって何が大事なのかを考えて進めていただきたい。

また、外部指導者等に伴う予算措置や、多方面からの協力が必要になることについて、町の考えを伺います。

#### 答え 町長

#### 「町全体の

#### 予算のなかで検討します」

部活動の地域移行は、教育委員会が調査、情報収集しています。今後、方針等が決定し、予算措置等の相談があれば、町全体の予算の中で検討します。

#### 答え 教育長

#### 「子ども中心の視点と 人材活用に努めます」

町の現状は、先進的に研究を進めている自治体の情報収集を進めています。課題は、指導者の人材確保及び保護者の費用負担と考えています。

教員の働き過ぎの見直しを勘案しながら、子どもたちが部活動を楽しめるように考えていきます。



# 一般質問



## 柴崎愛子議員

予防接種

### ◆65歳以上に 平等な助成金支給を！

高齢者の肺炎球菌とインフル  
エンザ予防接種への助成は、町  
の指定医療機関でしか受けるこ  
とが出来ません。

神川町は県境のため、藤岡市  
の病院へ多くの方が入院してい  
ますが、助成金の対象は、神泉  
地区と渡瀬地区に住所が有る方  
のみで、それ以外の大字の患者  
は自費で接種しています。

高齢者の予防接種、なぜ、平  
等な助成を受けることができな  
いのか、町の見解を伺います。

【答え】町長

「助成対象医療機関拡大を  
訴えていきます」

65歳以上の公費による高齢者  
の肺炎球菌とインフルエンザの  
予防接種助成は、本庄市児玉郡

医師会を中心に埼玉県内の多く  
の医療機関で実施できるよう委  
託契約を締結しています。また、  
渡瀬地区、神泉地区の方に限り、  
医師会にご理解いただいた上で、  
藤岡市の一部の医療機関で接種  
を行っています。

本庄市、児玉郡の4市町では、  
医師会との会議等の機会を捉え、  
2種類のワクチン助成対象の医  
療機関拡大を訴えていきます。

健康長寿対策

### ◆がん検診に 線虫検査を導入すべき

がん患者の尿に集まり、健康  
な方の尿からは逃げるという  
「線虫」という生物が持つてい  
る、性質を利用した尿一滴で簡  
便にできる検査は、15種のがん  
を見分ける感度86・8%です。  
線虫検査への町の認識と調査研  
究を伺うとともに、「線虫検

査」を町のがん検診に導入する  
考えがあるか、改めて伺います。

【答え】町長

「国県を注視、慎重判断」

現在町では、厚生労働省の科  
学的かつ統計的な根拠に基づく  
がん検診を採用し、個人負担な  
しで実施しています。

がん検診は、早期発見、早期  
治療により、がんによる死亡率  
を減らすことが目的です。

また、がん化する前段階のポ  
リープや腫瘍などの病変を見つ  
けることにも効果が検証されて  
おり、病変の経過観察や必要に  
応じた治療にも施されています。

線虫検査の現状は、現段階で  
は有効性を検証中と思えますの  
で、国や県の動向も注視し、町  
での線虫検査導入は今後の検討  
材料の一つとして慎重に判断し  
ます。

水道老朽管等の更新

### ◆石綿管・VP管更新の 進捗状況・財源を問う

近隣の未更新石綿管(石綿セ

メント管)は、本庄市0km、上  
里町・美里町1km未満であるの  
に、神川町は14kmを超える長さ  
が残されています。

なぜ、神川町はほかの自治体  
と差がついてしまったのか、理  
由を伺います。

また、石綿管・VP管を更新  
するための費用は、約20億8、  
600万円近い金額です。

これらの事業の進め方、財源  
確保及び、近隣市町より水道料  
金の高い理由を伺います。

【答え】町長

「料金引き上げない努力を」

町では、平成22年まで国庫補  
助金を活用しましたが、施工当  
時優良な材料と言われた石綿セ  
メント管を積極的に採用したこ  
とが、残存延長の多い理由です。

また、近隣市町より水道料金  
が高い理由は、老朽化による施  
設・管路更新や、県水受水料金  
も入っているためです。

収納料金内で最大の効果が得  
られるよう検討し、水道料金は、  
引き上げない努力をします。



## 堀川光宣議員

### 小学校の統合

#### ◆2校の統合を問う

小学校の統合について、令和2年から8回にわたり、神泉、渡瀬、青柳、丹荘小学校等の小

学校適正規模等検討委員会が行われましたが、合意には至りませんでした。

しかし、渡瀬地区の人からは、子どもたちのために「一日も早く統合してほしい」という声が



特色ある教育活動：研究授業の様子

青柳小学校ホームページより

(<https://aoyagi-e-kamikawa.edumap.jp/distinctive-activities>)

多く聞かれたことから、「渡瀬、青柳小学校の2校統合を提案することについて、町の考えを伺います。」

また、統合が決定した場合、どれくらいの間が必要なのか、を伺います。

### 答え 町長

「総合教育会議で議論を進めます」

4つの小学校の適正規模、適正配置は、小学校適正規模等検討委員会の答申を受け、検討を進めており、今年度は教育委員会と町長部局の合同会議であります総合教育会議で議論を進めていく予定です。

### 答え 教育長

「検討項目から数年と考えるつもりです」

渡瀬小学校と青柳小学校統合までに、どのくらいの期間が必要かについては、検討委員会の答申を受け、4つの小学校の在り方を検討しています。

そのため、渡瀬小学校と青柳小学校の2校の具体的な統合を答えることはできませんが、一般的な統合期間の話では、考えなくてはならないこととして、保護者や地域の住民の方への説明も必要ですし、学校が変わったりするわけですから、子どもたちが安全に登校、通学方法の検討、あるいは教員の人事も当然関わってきます。受け入れる側の学校施設の整備も、当然、色々考えなくてはなりません。考えただけでも色々出ますので、まだほかに細かいこともあると思います。

何年とは言えませんが、数年はかかると考えています。



# 一般質問



## 坂本貴佳議員

### 行政のデジタル化

#### ◆住民目線で

#### デジタル活用を

国ではコロナ感染拡大時、給付金支給遅れ等の発生により、行政の効率化が求められデジタル化を進めています。

デジタル化の成否はマイナンバーカード交付率が左右しますが、町の普及率及び今後の普及施策を伺います。

また、町内ではマイナンバーカードの利用機会が少ないが、今後町として、どの業務をデジタル化し、住民サービスの拡充・行政の効率化を行うのか、その手段としてデジタル化のうねりは絶好の機会です。住民満足度向上を主眼に他行政区に先んじて対応していただきたいが、町の対応状況を伺います。

デジタル化の推進は、住民目線で役場業務の効率化を導く人

材が必要です、全国的にIT人材確保が難しいと報じられるなか、町としてどの様に人材確保をするのか、伺います。

#### 答え 町長

#### 「庁内の英知を集め デジタル化を検討」

町のマイナンバーカードの交付率は、7月末時点で31・6%、全国平均の45・9%以下ですが、住民票等のコンビニ交付サービスの導入を進め、利便性向上を図り、併せて申請サポート事業等で交付率向上を図ります。

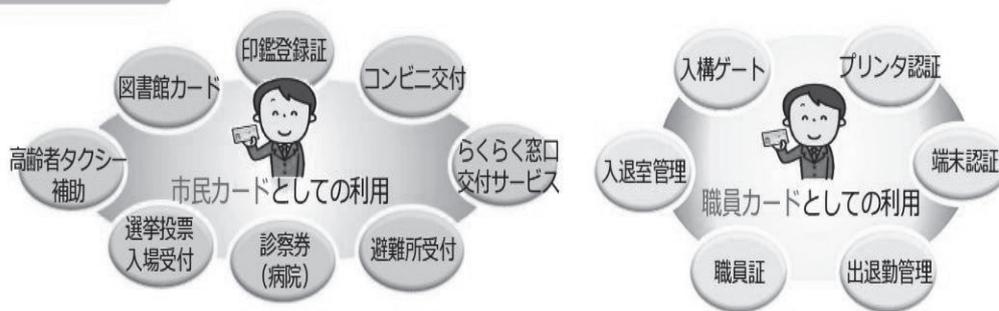
また、マイナンバーカードを活用した施策では、コンビニ交付サービス、転出入などの電子申請等を推進し町民の利便性向上を図るとともに、医療機関での健康保険証の対応は折に触れ働きかけます。

IT人材の必要性は大きく、

埼玉県町村情報システム共同化推進協議会に参加し、他町村での課題や国の動向を把握しデジタル化を進めます。また、各課にIT推進委員を配置し、IT

推進委員を中心に研修を実施します。ITの専門職員をすぐには採用しませんが、デジタル化の進捗状況を見て検討します。

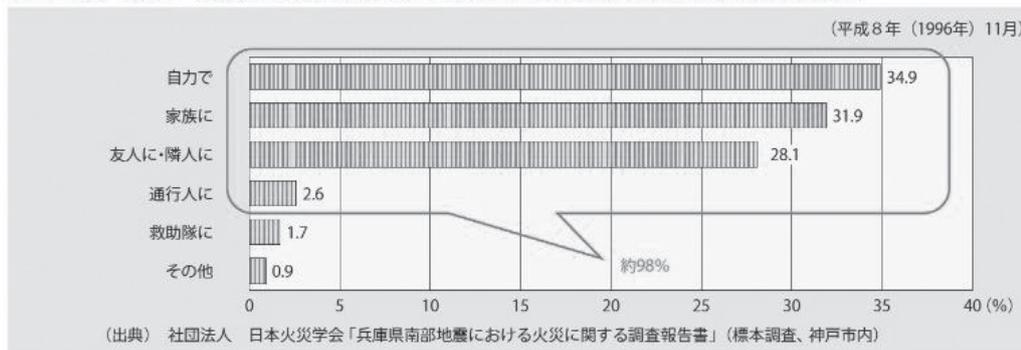
### 市町村の取組事例



マイナンバーカード・インフォ(自治体向け) vol.1 (デジタル庁)  
[https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/75540031-2bab-41ee-9671-0772f5cd82a6/ee97d620/20221003\\_policies\\_mynumber\\_local-government\\_infor\\_01.pdf](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/75540031-2bab-41ee-9671-0772f5cd82a6/ee97d620/20221003_policies_mynumber_local-government_infor_01.pdf) を加工して作成

# 一般質問

第4-1図 阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助の状況



令和3年版 消防白書(消防庁)

([https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r3/items/r3\\_all.pdf](https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r3/items/r3_all.pdf)) を加工して作成



福島康弘議員

## 自主防災組織

### ◆自分たちの地域は自分たちで守る

計画期間を10年とする新神川町総合計画では、2008年に目標23団体の設置を掲げスタートした自主防災組織ですが、2017年の実績数は5団体と目標値を達成できていません。

新たに策定された第2次神川町総合計画では、2027年の目標を10団体と低い目標設定にしています。

近年至るところで1か月分の雨量が1時間ほどで降り、土砂災害、川や用水路、沢などの氾濫が起きています。

町でも、いつ、どんな災害が起こるかわかりません。そのため、災害時には地域の自助、共助が必要です。行政では、全て支え切れなるところを補うのが自主防災組織ではないでしょう

か。

消防白書では、平成23年から令和3年の約10年間に、全国の自主防災組織は14万6,396組織から16万9,804組織になり、自主防災組織による活動カバー率は増加傾向にあると記載されています。

また、阪神・淡路大震災や東日本大震災、その後の大規模災害でも、自主防災組織が地域住民の中心になって、日頃から地域防災力の向上に努めていた結果、地域住民の避難が適切に行われ、被害の軽減につながった事例もあるとまとめています。

地域にしか分からないこと、地域でしか出来ないこと、自助、共助につながるとは思いますが、自主防災組織が少ない理由、必要について、町の考えを伺います。

## 答え 町長

### 「自主防災組織結成を引き続き支援します」

町では、災害への備えとし、まず自分の身は自分で守るため

の自助、次にご近所の人が協力し、お互いを助け合う共助の推進のため、自主防災組織の結成、活動を支援しています。

現在町内では10団体、1,137世帯が各自自主防災組織に加入し、地域で想定される災害に備えた訓練や研修会など、災害に備えた活動をしていただいています。

また、近年の全国的な災害発生状況を踏まえ、組織結成や組織で備えておくべき資機材の相談も増えています。

広域的な災害時には、公助である行政の支援が行き届くまでに時間がかかってしまうことなどから、日頃から個々の様子を知っているご近所の皆さんの力、共助が非常に大切であると考えています。

引き続き自主防災組織の結成に向け、町として支援します。

# 一般質問



## 新井太一議員

SDGs(まちづくり)に  
取り組むための町の体制づくり

### ◆積極的なまちづくりを

2015年の国連サミットで採択されたSDGsですが、国内でも既に先進的な地方自治体では積極的な事業の取組が進められ、意識度、認知度の低い地方自治体との格差が生じている状況です。

町で独自のSDGsに取り組む場合、農業、林業、観光業、商工業の事務が、経済観光課として1つの部署に集約されています。これらの事業は、まちづくりに直結するものと考えられます。地方創生の観点から見れば、それぞれの担当に課題が多過ぎ、創意工夫による新しい事業に着手することは現状難しいではありませんか。専門的な新しい部署を設置するなど、再編成した組織体制でこれ以上に

取り組んでいくことが、神川町の将来像にも大きく影響して行くものと思います。

さらなる町の発展を目指し、SDGsに基づく地方創生活動の早期実現のため、今後の職員配置や人材活用の改善、見直しを行う考えがあるのか、伺います。

また、神泉総合支所も新たに来年度開庁することから、支所の組織編成及び人員体制についても、考えを伺います。

### 答え 町長

### 「適切な職員配置で課題解決に取り組めます」

持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取組を推進するに当たり、SDGsの理念に沿って進めることにより、政策全体の最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、

地方創生の取組の一層の充実、深化に繋げることが出来ると思っております。町では、第2期総合戦略のなかにSDGsの理念を取り入れ、各課がそれぞれの分野の業務に責任を持ち、各種の事業や施策を進めているところです。町の今後の事業施策が特定の課に集中しており、「現状組織や人員配置では十分ではないのではないか」という考えもあると思いますが、人員配置や人材活用、行政事務が適正かつ効率的に行われ、住民サービスの向上に資するよう配慮しています。SDGsに基づく地方創生を推進、実現していく上では、課を横断した政策や検討す

べき課題があり、今後も限られた人員のなかで事務事業を精査し、適切な人員配置に努め、職員一丸となり課題解決に取り組んでいきます。

また、神泉地区は、森林や清流等の豊かな自然のなかにありますが、少子高齢化や人口減少が進み、観光や移住促進、人と人とのつながりをこれまで以上に盛り上げていくことが、支所の役割として期待されていると考えています。新神泉総合支所がさらなる地域振興や地域の交流、交通の拠点となるため、人員の増員や新たな組織編成に向けた検討を進めています。



「関係人口」の創出・拡大  
「地方創生の現状と今後の展開」(総務省)  
([https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000635353.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000635353.pdf)) を加工して作成

# 一般質問



地域におけるデジタル活用支援【愛知県】イメージ  
「自治体DX推進手順書参考事例集【第1.0版】」  
(総務省) ([https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000759086.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000759086.pdf)) を加工して作成

## 自治体DXの取り組み

### ◆誰も取り残さない自治体DXの取り組みを

自治体のDXへの転換が求められていますが、行政手続きのオンライン化により、様々な手続きの申請がホームページから引用出来るようになりました。



赤羽 奈保子 議員

さらに、メール等で返信できるようにになると申請する側も受け取る側もスムーズに仕事が出来ようになるのではないのでしょうか。

自治体DXを進めるうえで「誰も置き去りにしない」ことが大事だと考えますが、デジタルが苦手な方への支援などの考えはあるか伺います。

また、コスト削減、事務作業の軽減に繋がるペーパーレス会議の導入の考えについても、伺います。

### 答え 町長

#### 「誰も置き去りにしない取組を充実します」

町のホームページに掲載している申請書などのメールは、本人確認等の運用上の課題を検討する必要があります。

今後、電子申請に切り替えるものがないか、運用等を踏まえ

検討するとともに、国が構築した「ぴったりサービス」などを活用して、オンライン化を推進していきます。デジタルミマムは、町としても自治体DXを進めるうえで「誰も置き去りにしない」という考えは非常に大切です。誰も置き去りにしないデジタル化の推進を図るための教室や体験会などの充実を検討します。

また、ペーパーレス会議は、現在国で進められている自治体DXについてもペーパーレス化は重要です。今後も費用対効果等を踏まえ、検討していきます。

### エコツーリズム

#### ◆地域資源の有効活用を

町には地域資源、観光資源がたくさんあります。その資源を生かさないのはもったいないのではと常に考えています。

地域活性化と経済振興には、エコツーリズムのような取り組みで町をアピールしていくことが大事ですが、町の考えを伺います。

### 答え 町長

#### 「町に合う」 「方策を研究します」

地域の魅力を観光客に伝えるため、地域の住民自らツアーを計画し、ガイドとなり、観光客をもてなすエコツーリズムは、改めて地域の価値を確認し、地域活性化に繋がるといった効果もあげられています。

様々な取り組みをする自治体はありますが、環境省等にエコツーリズムを推進するための全体構想が認定された協議会のなかでも、谷川岳、宮島、白川郷といった全国有数の知名度を生かし、生業として成り立つ水準のツアーを展開する地域もあります。

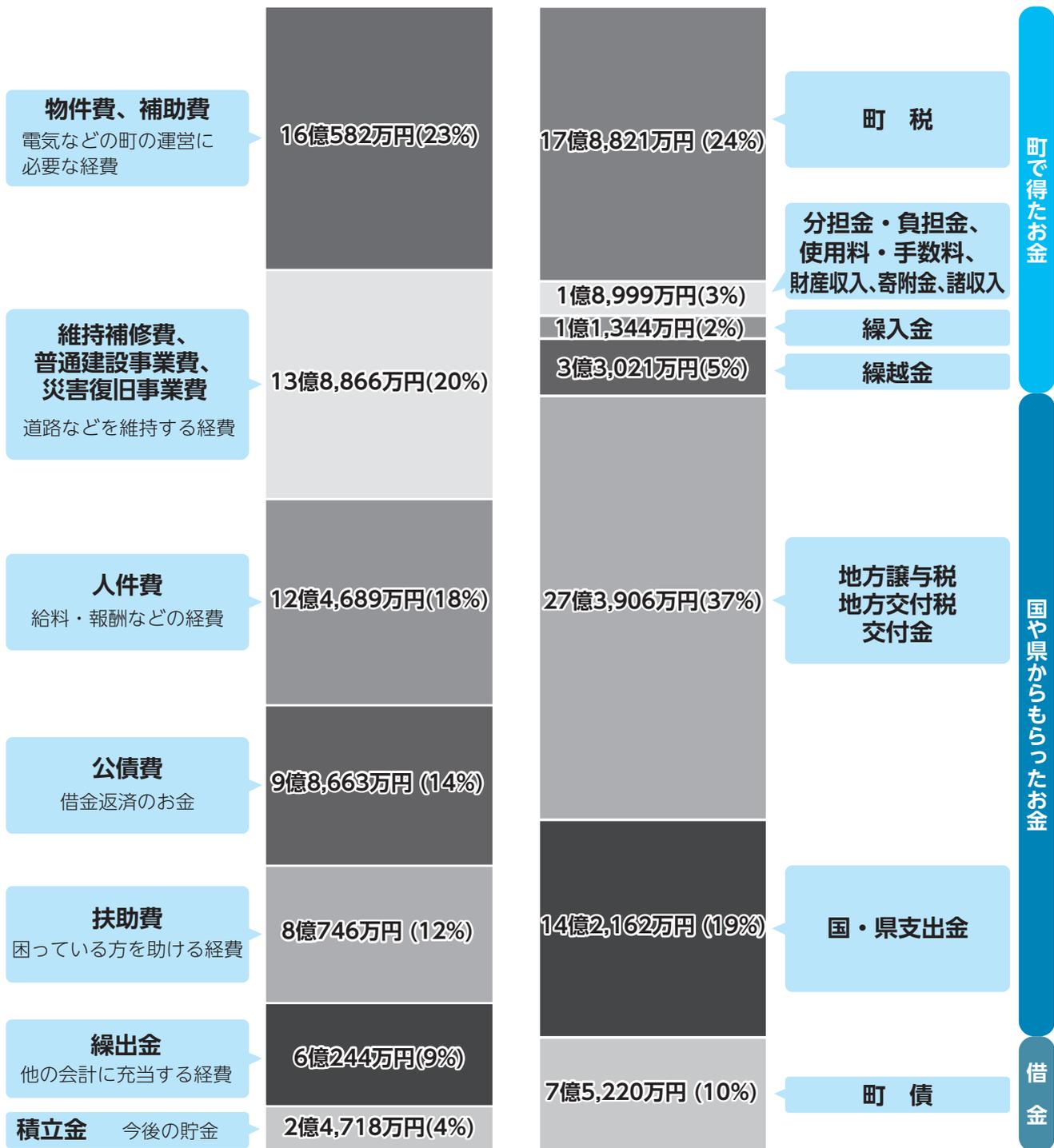
飯能市では民間事業者等が地域活動、業態を生かした小規模ツアーを行っています。

町として、何が町にあったものなのかを検討しながら、高齢者の生きがいや生涯学習的、高齢者福祉的な視点も取り入れた地域振興・魅力発信の方策を研究していきます。

# 決算審査 かみかわの財政

町が使ったお金  
68億6,804万円

町に入ってきたお金  
73億3,473万円



※「投資及び出資金、貸付金(96万円)」(奨学資金として貸したお金)については、全体に対する割合がとて小さいため、グラフに含めていません。

決算  
審査

# 令和3年度事業を認定

町の予算がきちんと執行されたか、慎重審議し、全ての会計決算を認定しました。  
そのなかで、議会が注目した事業を紹介します。

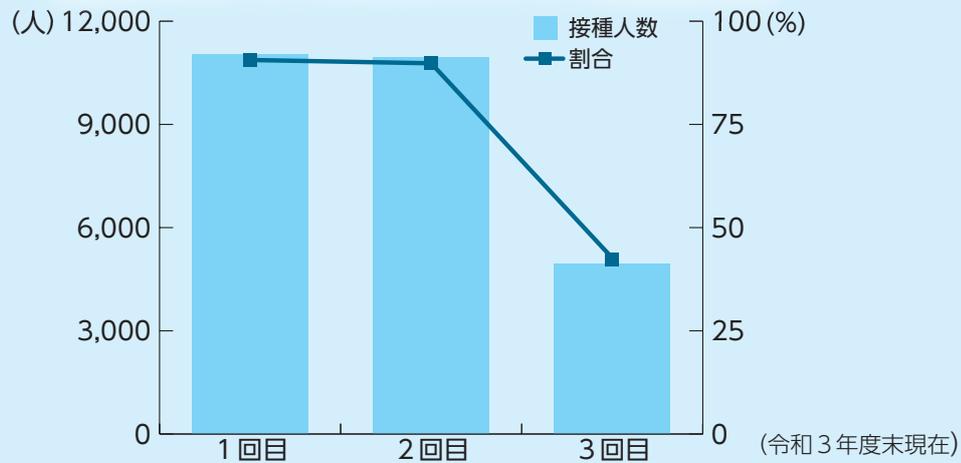


コロナ  
対策

## 感染拡大防止給付金事業

450万円  
66の介護事業所等へ給付金を支援した。

## 新型コロナウイルスワクチンの接種状況



## 小・中学校トイレ改修事業

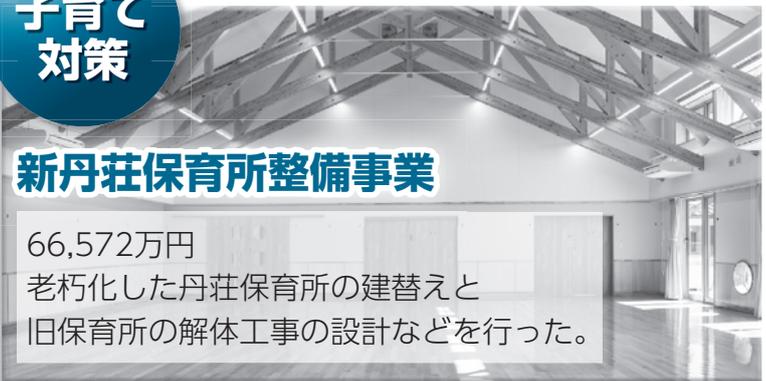
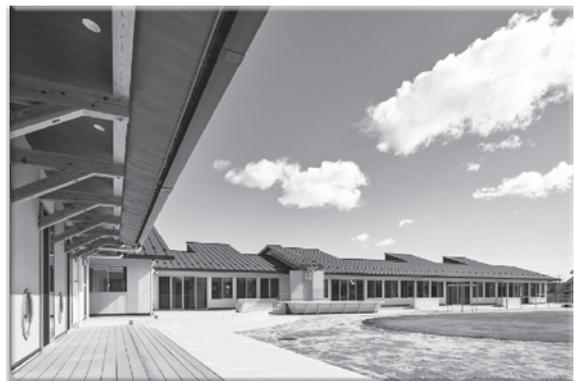
14,126万円  
小・中学校5校のトイレの洋式化等を行った。  
小学校総額：9,763万円  
中学校総額：4,363万円



# 子育て対策

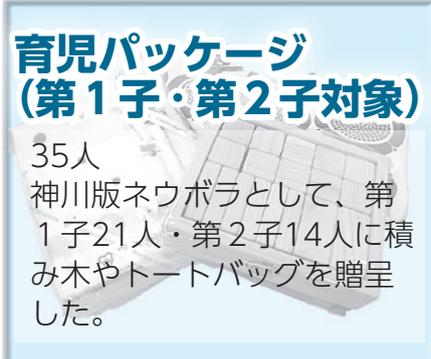
## 新丹荘保育所整備事業

66,572万円  
 老朽化した丹荘保育所の建替えと旧保育所の解体工事の設計などを行った。

## 育児パッケージ (第1子・第2子対象)

35人  
 神川版ネウボラとして、第1子21人・第2子14人に積み木やトートバッグを贈呈した。

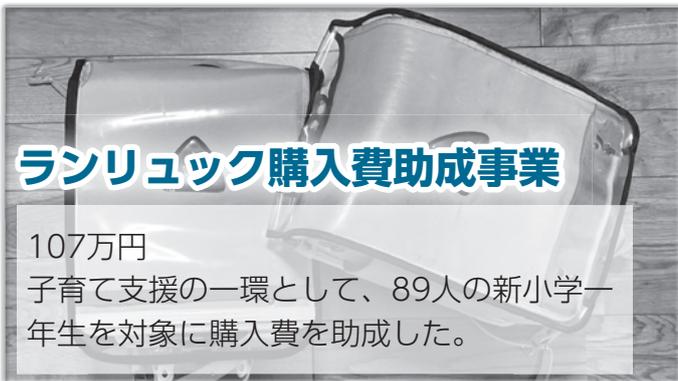


## 児童生徒の給食費無償化事業

4,140万円  
 子育て環境整備と経済的負担軽減のため、児童生徒の給食費無償化や補助金を交付した。

## ランリュック購入費助成事業

107万円  
 子育て支援の一環として、89人の新小学一年生を対象に購入費を助成した。



## 園児送迎バス新規購入事業

602万円  
 園児送迎のため、車両1台の入れ替えを行った。



# 防災対策

## 消防団 AED 更新事業

268万円  
 耐用年数により消防団のAED(自動体外式除細動器)9台の更新を行った。



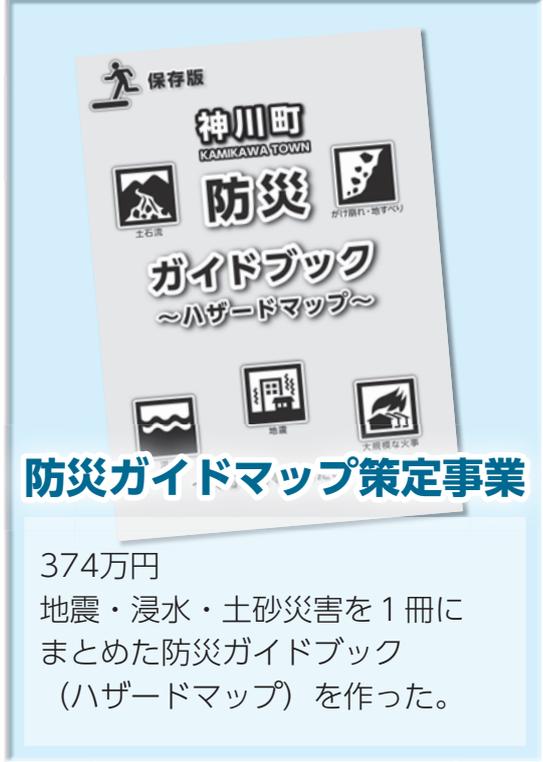
## 防災備蓄倉庫設置事業

3,176万円  
 避難所に指定されている小・中学校5校に防災備蓄倉庫を設置した。



## 防災ガイドマップ策定事業

374万円  
 地震・浸水・土砂災害を1冊にまとめた防災ガイドブック(ハザードマップ)を作った。



## ● ● ● ● 9月定例会議案一覧及び審議結果「決算関係」 ● ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和3年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額73億3,473万1,813円、歳出総額68億8,603万9,034円の決算を認定した。	△
	令和3年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額15億9,359万6,484円、歳出総額15億5,009万1,511円の決算を認定した。	△
	令和3年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1億4,169万2,809円、歳出総額1億3,403万4,978円の決算を認定した。	○
	令和3年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額12億4,578万3,362円、歳出総額11億2,080万6,606円の決算を認定した。	△
	令和3年度神川町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額963万5,438円、歳出総額942万5,916円の決算を認定した。	○
	令和3年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額2,969万4,367円、歳出総額2,896万8,664円の決算を認定した。	○
	令和3年度神川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1億5,287万341円、歳出総額1億4,920万7,324円の決算を認定した。	○
	令和3年度神川町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について 事業収益が3億2,023万4,254円、事業費用が2億7,631万9,901円、資本的収入が、751万1千円、資本的支出が1億2,191万5,177円の決算を認定した。	○
	令和3年度神川町健全化判断比率について	報告のみ
	令和3年度神川町資金不足比率について	報告のみ
令和3年度神川町一般会計継続費精算報告書について	報告のみ	

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

## ● ● ● ● 9月定例会議案一覧及び審議結果「予算」 ● ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和4年度神川町一般会計補正予算(第3号) 人事異動に伴う職員人件費の減額や物価高騰対策・農業災害特別措置事業費など。歳入歳出各4億1,846万8千円を増額し、補正後総額を歳入歳出各65億9,974万3千円とする。*14ページ写真①	△
	令和4年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出各3,438万1千円を増額し、補正後総額を歳入歳出各15億3,668万9千円とする。	○
	令和4年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出から各154万6千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各1億6,682万3千円とする。	○
	令和4年度神川町介護保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出各1億2,566万8千円を増額し、補正後総額を歳入歳出各12億6,467万1千円とする。	○
	令和4年度神川町水道事業会計補正予算(第2号) 第3条予算の支出から58万円を減額し、補正後の額を2億7,943万2千円とする。	○
	専決処分につき承認を求めることについて(令和4年度神川町一般会計補正予算(第2号))	○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

## 9月定例会議案一覧及び審議結果「条例・契約等」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	神川町予防接種健康被害調査委員会条例 予防接種による健康被害の適正かつ円滑な処理を図るため、条例を制定した。	○
	神川町印鑑条例及び神川町手数料条例の一部を改正する条例 証明書等のコンビニエンスストア等における交付サービス導入に伴い、所要の改正を行う。*イラスト①	○
	神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び神川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 育児休業等の取得要件の緩和等に伴う人事院規則の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町過疎地域持続的発展計画の変更について 事業計画の追加等により、計画を変更した。	○
	工事請負契約の締結について 5千万円を超える総合福祉センター改修工事の契約。	○

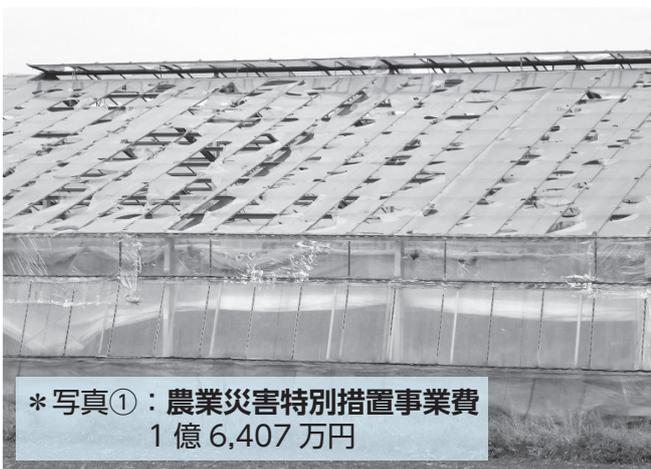
※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

## 各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

議案名称	議決等の結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		四方田繁男	新井 太一	田中 隆久	川浦 雅子	野口 弘吉	坂本 貴佳	清水 敏信	堀川 光宣	柴崎 愛子	福島 康弘	落合 周一	赤羽奈保子
町長提出議案 令和3年度神川町一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○
令和3年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○
令和3年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○
令和4年度神川町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○

○ 賛成 × 反対 — 清水敏信議長（議事進行）は採決に加わりません。

## 9月定例議会で審議された主な事業を紹介します！



\*写真①：農業災害特別措置事業費  
1億6,407万円



\*イラスト①：証明書等コンビニ交付サービス

# 議会日誌

\*本誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

## 7月

- 1日 全員協議会  
国道462号期成同盟会総会
- 6日 児玉郡市広域市町村圏組合議会定例会
- 7・8日 埼玉県町村議会議長会視察研修
- 14日 埼玉県国保協議会総会
- 15日 国道254号促進期成同盟会会計監査
- 20日 国保運営協議会
- 21日 児玉郡町村議会議長会前期研修  
\*写真②
- 25日 斎場運営委員会
- 26日 議会だより編集部会
- 27日 臨時議会運営委員会

## 8月

- 1日 全員協議会
- 4日 中学生議会 \*写真③
- 18日 地方行政懇談会
- 22日 議会運営委員会
- 31日 国保運営協議会

## 9月

- 1日 全員協議会  
議会だより編集部会
- 6日 第3回定例会（一般質問）
- 7日 第3回定例会（決算説明）
- 8日 第3回定例会（決算説明、補正予算説明、条例改正等説明）
- 12日 文教厚生常任委員会協議会
- 13日 総務経済常任委員会協議会
- 16日 第3回定例会（条例、決算、補正予算等質疑・討論・採決）
- 21日 秋の交通安全キャンペーン \*写真④
- 28日 児玉郡市広域市町村圏組合議会定例会
- 30日 全員協議会

\*写真②：「政務活動費」をテーマに3年ぶりに研修を行う。



\*写真③：中学生議会を開催、地方自治を学ぶ。



\*写真④：交通安全の啓発キャンペーンを実施



### 議会豆知識

#### 議会のしくみ：議長と副議長

議長と副議長は、議会において議員のなかから選挙で選ばれます。議長は、議会を代表し、議会の運営や議事整理を行います。

副議長は、議長を補佐し、議長が出張や病気などで不在のとき、議長の職務を代行します。



清水議長



柴崎副議長

# 議会活動報告

## 文教厚生常任委員会 教育の現状を確認

9月12日（月）、教育長をはじめ、教育委員会学務課と意見交換を行い、英語授業をサポートするA L Tの現状や外国への短期留学の可能性を確認しました。

また、町内での不登校(文部科学省調査)の状況を確認し、全国的に増加傾向にある不登校への取組・支援を継続して行うよう要望しました。

さらに、新聞に掲載された生徒主体の中学校校則改定の経緯・内容・課題を確認し、中学生の積極的な姿勢に頼もしい思いを感じました。



## 総務経済常任委員会 農業の現状を意見交換

9月13日（火）、全員協議会室で、総務経済常任委員会協議会を開催し、経済観光課と無農薬無化学肥料栽培や梨栽培の現状について意見交換しました。

また「農業における小水力発電」をテーマに、行政視察の事前研修も行いました。

町の農業の問題や課題は難しいが、それに向けて取り組んでいく必要があると感じました。



写真タイトル： 輝く もみじ

📷 撮影 フォーカス友の会 根岸 清さん

撮影場所：大字矢納地内（城峯公園）

撮影日：平成22年11月26日

撮影者：夜桜を撮影するため、城峯公園にひとこと  
行ったら、もみじの美しさに惹かれた。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。



【 3月定例会は、3月3日（金）から開催予定です。 】

●編集 神川町議会運営委員会 〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909

●発行 埼玉県児玉郡神川町議会 ☎0495(77)0707 Fax0495(77)5771

<http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

